

# 教えるから 共に学ぶへ ⑬-1

今治市立菊間中学校  
担任 橋本 孝大

先日は、お忙しい中、人権・同和教育参観日へご参加いただきありがとうございました。今回の授業のねらいは、差別や偏見の不合理さについて理解し、部落差別を許さない心情と態度を養うとともに、仲間とともに力を合わせて、差別や偏見のない社会の実現に向け行動しようとする態度を育むことを目指しました。

授業では、教材にある清五郎たちの心情について考え、差別の歴史的背景について学びました（B課題）。また、被差別の立場から5万日の日のべを告げられた心情を考え、最後には清五郎さん（差別に負けず、立ち向かってきた人々）への手紙を書き、差別解消に向けて行動していく大切さについて考えました（A課題）。

以下は、子どもたちのワークシートの抜粋です。ご一読いただき、今回の参観日に対するご感想・ご意見をいただければ幸いです。今後も、子どもたちの道徳心を伸ばしていくような授業をつくりていくための、貴重なご意見とさせていただきます。何とぞよろしくお願ひいたします。

## 差別をなくすために

- ・みんなに優しくする。・相手の気持ちを考えて行動する。・周りをよく見て助け合う。
- ・違いを認める。・挨拶を大切にする。・互いを理解、尊重し合う。
- ・差別を許さない心。・仲間と力を合わせて助ける。

## 清五郎さんへの手紙

- ・理不尽に差別された耐え難い思いをしてきたことでしょう。私は5万日後を生きている人間です。清五郎さんの思いを持って、私たちが差別をなくします。
- ・解放令が出ても差別がなくならなかった清五郎さんの気持ちを考えると本当につらかったと思います。今、私たちは人権学習をしており、差別について学び深く考えて行動しています。これまで学んだ人権学習を生かし、私たちで差別をなくしていきたいです。
- ・解放令が出て幸せな人生が送れるのではないかと思っていたのに、一層、生活が厳しくなったと聞いて胸が痛くなりました。今残っている差別に対しても、私たちがこれからも努力し、差別をなくせるように頑張ります。
- ・今、僕たちが生きている時代は、差別への意識が高まっています。学校でも、人権についての理解を深めています。差別をなくすために、自分たちにできることを頑張りたいです。

締切り 11月10日（月）

切取り線

授業へのご意見・ご感想